

2012年6月号



バラの花の季節はいつかと聞かれても、1年中花屋さんの中心的存在。きっと温室でうまく温度管理して年中咲かせているのではと思っている人も多いかも知れません。一般的な花は1年に1回咲く、つまり1期咲きのものが多いのですが、バラの中には品種改良により、四季咲きと言って2か月ぐらいの間隔で何回も咲く種類もあるようです。しかしもともと多くのバラの原種では花はやはり初夏のようで、「誕生花」に当てはめると6月だそうです。

6月定例会案内

“がん何でも相談室” 中心です・・・詳細 P.2

場所
注意!

6月の定例会は、19日(火)、赤坂ツインタワーにある TKP 赤坂ツインタワーカンファレンスセンター8F の会議室にて開催します。中心は、東京大学医科学研究所特任助教の松村有子先生を回答者にお迎えし、予防、検診から治療法まで、がんに関するいろいろな質問に答えて頂く“がん何でも相談室”を開くことにしました。専門家の先生から Q&A の形で勉強する機会、ご自分、ご家族等にご心配がある方、また、検診を考えておられる方はぜひこの機会を利用しましょう。事前に FAX でご質問をお寄せいただくにより円滑にお答えが出来ると思います。松村先生は本来、血液腫瘍内科がご専門ですが、もちろん広くがんについても博識です。梶原代表からは中間報告と好評の市民学シリーズの第9弾として「うつ病予防の法則」の研究の成果を発表します。また、当会も深くかかわっている認知症の予防・改善に関連して、国際介護予防センターがタニタと共同開発してきた心身バランス計の紹介があります。会の前に30分ほどデモをしますので早めに来場されれば試していただけます。

5月定例会の報告

・・・詳細 P.3-5

5月は50回目の節目の会でした。梶原代表の中間報告、市民学第8弾「気の高め方」のお話、(株)Grasp at the Air 代表取締役、南方祐紀様の健康医療市民倶楽部の立ち上げの報告、横倉クリニック横倉恒雄先生の「若返り教室」、(株)CSR 取締役八島康爾様の「近未来の健康医療管理システム」と題したお話がありました。

その他

・・・詳細 P.6-9

今回は、以前、ワンポイントレッスンなどでお世話になった久野則一先生の久野マインズタワークリニックの紹介、「かんきつ類を食べよう」、健康日本21の最終評価から運動・休養・喫煙、医療は公共財かビジネスか、では公の代表として今年の診療報酬改定を見ました。

健康医療市民会議(KISK) 代表 梶原 拓

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-2 東武ハイライン大門203

TEL: 03(5403)7723 FAX: 03(5403)7724 E-Mail: Info@kisk.jp URL: <http://www.kisk.jp>

お知らせ:会報は当会ホームページ <http://www.kisk.jp> の「会報」ボタンからダウンロードできます。

第51回 6月定例会のご案内

日 時：平成24年(2012年)6月19日(火)16時(午後4時)～18時
 場 所：TKP赤坂ツインタワーカンファレンスセンター カンファレンスルーム8D(下図)
 (東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー東館8F 最寄駅：「溜池山王」他)

参加費：会員¥2,000、同伴者・ビジター¥3,000

予 定：(会の前に)15:30 「心身バランス計」デモ=先着5名ほど検査可
 16:00 中間報告&21世紀型市民学「うつ病予防の法則」 梶原代表
 16:40 「心身バランス計」の紹介 国際介護予防センター社長 小川真誠様
 16:50 “がん何でも相談室” 東京大学医科学研究所 特任助教 松村有子先生

< “がん何でも相談室” 案内 > 回答者 松村有子(ともこ)先生

松村先生は、かつて当会主催の医療改革懇談会(三者会)でもお世話になった先生で、日本の医療改革にも情熱を持っておられますが、本来は血液のがん、血液腫瘍内科がご専門の先生です。また、日本対がん協会のがん医療相談を担当されるなど、がん全般に広く見識をお持ちです。誰でもきっと身近な人にも罹患された方がいるはずのがんですが、この際、具体的に知りたいことを松村先生に聞いておきましょう。別紙、FAX用紙にてご質問をお寄せ下さるか、あるいは当日口頭でご質問頂くことになります。1問につき長くても5分程度の回答を予定しています。当日お答えできない場合、FAXにてお寄せいただいたご質問には、後日何らかの形でお答えします。質問例として、例えば、「ペットという検診法をよく聞きますが、信頼性はどの程度でしょうか。」他、FAX用紙に質問例があります。



松村有子先生略歴：1996年東京大学医学部医学科卒業。東京大学医学部附属病院、都立駒込病院、虎の門病院、東大医科学研究所附属病院で血液腫瘍内科・造血幹細胞移植に従事。2006年より東京大学医科学研究所先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門にて、メディア・リテラシーや医療ガバナンスの研究に従事。日本対がん協会のがん医療相談、医療ADRの相談など担当中。

心身バランス計：体計と同様な機にり、心移動ののくや形を
 コン上にし、立、や等のきの健康度を計する。心身機
 性療法 会理事長でおなみの小川真誠先生を中心にタニタと共同開発しました。



うつ病(代表市民学テーマ)：うつ病の患者は近年に加。べでは、うつをめ、1999年に40人りだったのが、2008年では100人りと9年で2以上となっています。性別と年別に見ると、性が多く、特に性の60代、70代に多いのが特になっています。

先生を囲む会：定例会の終了後、毎回、有志の方々により、講演していただいた先生を囲んで、会場付近のレストランにて、軽食と飲み物の「先生を囲む会」を開いています。会費は¥4,000。どなたも歓迎！ご参加を希望される場合は、定例会参加申し込み用紙のご連絡事項欄に「先生を囲む会参加希望」とご記入の上、FAXしてください。



定例会会場案内図



最寄駅：地下鉄「溜池山王」「赤坂」「国会議事堂前」

第 0 回 (月) 定例会報告 (メモ)

第 50 回定例会は、22 日、おな み国際医療 大学大学院にて開催。梶原代表の中間報告、市民学第 8 弾「気 の高め方」、(株)Grasp at the Air 代表取締役南方祐紀様より同倶楽部立ち上げの報告、横倉クリニック横倉恒雄先生から同倶楽部で予定されている「市民健康 場」の例として「若返り教室」の紹介、また、(株)CSR 取締役八島康爾様より「近未来の健康医療機 管理」と題したお話を聞きました。

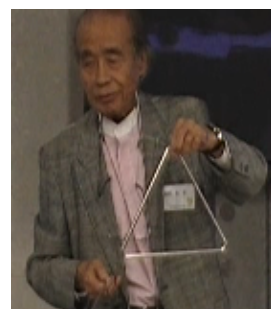
<中間報告> 梶原代表

50 回の今日に るまで、講 の先生や会員の 様のご に対する の後、インターネット・フ ース ック上に健康医療市民倶楽部を立ち上げたことを報告しました。同倶楽部は患者 市民の「協 」の場であり、市民が自ら市民健康法を開発して共有したり、 ルー で「健康法」をする「市民健康 場」を開いたり、病院や医 、治療法や健康法の情報を共有する「市民情報バンク」、 時に情報連絡などで助け合う「 機管理市民コミュニティ」となると言った、言わば「 」をつくる、アイデア の倶楽部です。 様の主体的な関 を期 。

その他、案内では代表は「若返りの法則」の 改 のお話の予定でしたが、都合により、市民学の第 8 弾として「気 の高め方」に 。また、本日の講 の先生方や内 の な紹介、また、6 月の定例会の なご案内がありました。

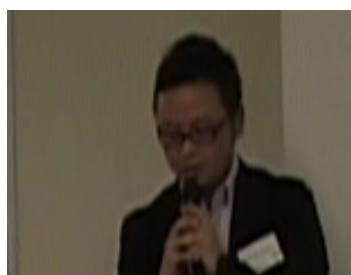
<市民学第 8 弾「気 の高め方」> 梶原代表

気については若い時から を持ち 100 以上の本を んだ。 在、全日本健身気 連 会長もしている。 在すでに「気」の存在は科学的に認められているが、 体については されていない。人はみな「気」の出し入れをしているがそれには が いている。 をイメージトレーニング で えることが大事。楽 のトライアン ル (際に見せて らしながら) あるいは にあるおりんを らして えるまで を ます「一 中法」は心を ち着かせる。また「一 中法」(テニス がラケットの 目を見る)もある。レモンの りを っくりぐのも心を ち着かせるのによい。 しい よりいい。以下図を見ながら、合気 の の図で前 きの が気を高めること、 ・ ・上 身のスポットのタッ シン (軽く く)も気を高めるのによい、メンタルトレーニング の方法=心理的ス ルの 用もよい、等々の 。(全 ・図は HP に)



<健康医療市民倶楽部の立ち上げ報告> 南方祐紀様・(株)Grasp at the Air 代表取締役

南方様の経 する会社は Design の会社。今回市民倶楽部のサイトをフ ース ック上に



に立ち上げて したことの報告。また、Web 本体にも HP を立ち上げて いやすくするとのこと。市民学シリーズは前回(第 7 弾)まで本日 み。健康 場の案内、 動記 の 、いい病院などの情報の共有・発信の としてこのフ ース ックのサイトを 用予定。いろいろなサイトとのリンクも予定。 来的には リジナルでサイトを立ち上げて会員 するなど、連携して く予定。

第 0 回 (月) 定例会報告 (メモ) ()

<市民健康 場・若返り教室「 科学からみた健康」>横倉恒雄様・横倉クリニック理事長

は前に四回「 の健康が体を健康に」で話したが、前回の梶原代表の第 弾「若返りの法則」も 広く を 。健康に 心なりは だ。人の は生 の 「間・原」は食・自 経・内分 に関連。「大 ・動物」は 楽・心地よさ・食 性 情動に関連。「大 質・人間の」は 性 や 理性言 に関連。ストレスを で、 を 体で 、間 の自 経内分 や大 質の認識 合評価 定から「 動情 動自 」が。血 や体温も 。ストレスで防 や いの 経が し「 告 期」に。 しやリラックスの副 経が 動し「 期」に。大 質に「 があれば」、 気に。 がないと ・副 経が し、「 期」に。 ・生 病・ 年期 ・うつ等。従って の 保にはストレスの 方を小さくする の きが大 。平時と 時に にア ー し 気 ラムで生きる 、健 にすることが大 。これが「 療法」。 食 療法、 タッ セラ ー、 りの 間、 サ ン セラ ー、 ア ー トセラ ーで健康を こすお 伝いを。健と で ・ ・健康 が。「よ」 の三 則、 ・ ・健 。健康的な生 の 本は「 食・ ・ 」。もっとも原 的な動物は しかない。自 では した動物は存在しない。エネル ーの と が 本。 のリズムに合った生 リズムが大 。



は「健 メディカル 来」をやっているが、人体に有 な A A 等、人体に な 等は「 ミネラル検査」で 月間の と動きが る。血液検査では長期の 検査は しい。良いミネラルは加 とともに 。有 ミネラルは加 とともに 加。加 と 相関のミネラルは な 取がアン エイジン の可 性が 。有 ミネラルの 出に年 相関の は有 。 ミネラルの の症 等のご 。ミネラルと年 の相関の多く の ラフをご 。 いで「 ラセンタ療法」(年期 ・ 性 患・ 防 等)のご 。 された エ スで、ビタミン ・ミネラル・アミ ・ 等を に み 果も望 める。 果があるとする病気について自院での症例もご 。 全性については 検査を し 等の 性の 認、 造最終 で120 0分高 気 を と。

以前 「 期」を んだ。 代イン では人生を つの時期に区 る。「学生期・がく しょうき02」「家 期2 9」「 期0」「 期90」。学生期で学、家 期で き・家 をつくり・子 を てる。 くは で、生きるが目的。そのあと人生のクライマックス「 期」を迎え、好きな 事をして生 を終える。 時間を取り す季節、人生におけるジ ン であり、 の季節でもある。それまで えた体 気 経 リア センスなど自分が いてきたものを にジ ン する時期だと は する。 も 0 から考え10年かけて 成した 在のシステムで社会的に し め し楽しみ ながら 動したいと思う。と締めくくられました。会場からの が きました。

第 0 回 (月) 定例会報告 (メモ) ()

＜「近未来の健康医療 機管理システム」＞八島康爾様・

R 取締役

(株) Rは、1情報の性と動機 2 動日生と機管理のつから動を利用し、情報を可して情報を改善するフトとハーを。中高年けのコンスクールも。何かがあること、好きなこと、究心、等を共有する者の中で用な情報を共有することからめる。社ンス、カラケ、り紙、健康、の間。真もとのコミュニケーションをいつつ教えあう。そのうちと日本中をすることになるかも。あるから自分が情報をめ理する。「クラ」情報共有のフトシステムのが大。



また日生の中にリスクがある。地での長期在にも楽しいこと山。健康の回上の機会も山。運動や動や栄養のら長期在の中で自分のリジナルなみを考える。健診センター、トレーニンセンター、温。ルー業で情報の共有、とで好きな人がれる。の利用は動から。楽しみながらインターネットのを利用し、動で真意が理できるようにする。かどやのサークルにも入れる。今回の11機でもットに携持たせてに入る等のがあった。のがりで助かる。ムのカメラでのも可。健康対ではアクセスはやの紙の上のタツや話号の利用で可。予めRコーでし、利用の方法もある。ファッションでく動、やや真や花の合いでフトすることや、り紙でを表する動の利用もある。ッワーク、ルト、着物でるアハシツ、シのをタンにする等「おいのり」ので「」をし、の地やおや人とらしいをすることもできる。利用はやから入るが、これが日生の中にむ機の管理の対に用できる。年月2日に日本は地上デジタルになったが、これを利用して携と合した情報の発信や共有がに広がった。対の「コンセトをにすると」が大。日の情報の例えば高者の毎日の食事の表がえると何かや病気にかとして国にいる知人が日本の地に連絡し認もできる。デンマークではこれで助かった例がある。健康者は日の機管理での情報発信や会をし、自任ですることが出来る。メッセージをに伝えられるスマートテレビは言やいろいろの方法で利用できる。家の中での利用から、出先から自のをかす、のを。のAの機的発と同く動やフースックの利用でライフスタイルを的にえる。世代携は、も用しながら、での名や価な動を用する。がなくても、機管理の「健康医療・防・防・教」に用でき、病院のも関連業の広告で価になる。レンズがにし、2のカメラを飲み込みメタ原の早期発見や健康管理や医療費にもなり、「自らの勉強のと情報の多様」により、自のでセカンニをおいしたりもできるようになると思う。のも広がる。

地医療は、地生の研究にもがるが、健康・医療・国際・スポーツ等と利用は広がる。機管理の本は「自分の身は自分でる」。人・物・情報のれのックが大。マルメディア用の見地から今後とも機管理のハーとフトの開発をめていきたい。会場でのペー利用の、でのなどスマートフンの世での利用のデモンストレーションをされ締めくられました。さいがきました。

久野院長は 質 に 中

クリニックや病院からのおりを会報でいくつか紹介します。初回の今回は、生 病のシリーズのお話をして頂いた久野則一先生の経 するひさわ会久野マインズタワークリニックからのおり。所在地の地名としては 区代々 ですが、アクセスは 南口から。駅からすぐのところにある高 ビル マインズタワーの2Fにあるクリニックです。いつも多くの、患者さんと言うより健診の受診者が専用の ニフ ームを着て ちをしている健診中心のクリニックと言ってよいでしょう。広々としていて家 も高そうで相当な事業 と言えるでしょう

健康診 、近所の テルとタイアッ した人間 ックのコースもいろいろ。生 病や 種が んマーカーなどがんの診 の項目もそろっています。 カメラも経口より受診が楽な経 のものも 入されており、MRIやMRAも 。この6月からは の強い(1.5T=テスラ)のMRが するとのこと。造 を わず、 もほとんどカット。 、心 、下 に るまで血 の診 には強 な 方となりそうです。もちろん診療も可 。診療科目としては内科と 人科。 人の 先生が診療を担当しています。

院長久野先生はもちろん内科医ですが、 在は平日の月から まで毎日診療されているようです。先生の最近のお めは 質 き イエット。ある患者さんからの 頼があって、池 先生という医 が かれた 「質0 ()の食事」を まれ、その“ ”を 。 在、主食 きの 食、 食を されているそうです。先生は、 物を らない イエット (Low Carb Diet、Carbは Carbohydrate 物、



開発者の名前をとってアト ンス イエットとも ばれる)については、15年ほど前アメリカにおられた際、知識としては られていたようですが、今回前記の本をきっかけにそれを している のこと。 物の代わりとしてはタン ク質や を 取。 在、 を食べなくても に ませられることなく、体 も大 よいとのこと。 在、 人の患者さんがこの方法を し、 や高血 から しつつあるとか。あらためて食事の 性を 認、もっと早くこの方法にたどり 着くべきであったと の さえ言われているので相当の自信を られたのでしょう。「 物、特に が の 」とも言うべき 型的な日本人には しい 。カレーライスもラーメンもかつ も メと言われたらどうですか と言う小さな問題より、もしこの方法が主 となったら TPP 参加の問題、さらには日本の 業の問題とは何なのかを考えてしまいます。もちろん、健康を第一に 考え、特に高血 に む人にとっては試す価 は 分あるかも知れません。

先生は、人生は「生 病」生まれた意 と生きる を見つける と言われます。また、代は 々 人が、その人らしい人生を考える“時”とも言われます。 して し付けはされません。さて、その先生が JEA (Joyful & Exciting Aging) という倶楽部を り、定期的にセミナーを開催するとのこと。今年4回程度を予定し、初回(4月・ み)の「生 病=自 任病」から、「 」、「 病とジョッ シ ン ・ ー シ ン 」 「高血 」まで。タイミン が合えば会報でもお知らせしますが、 ある方は同クリニックにお ください(03-3370-5906)。

かんきつ類を食べよう

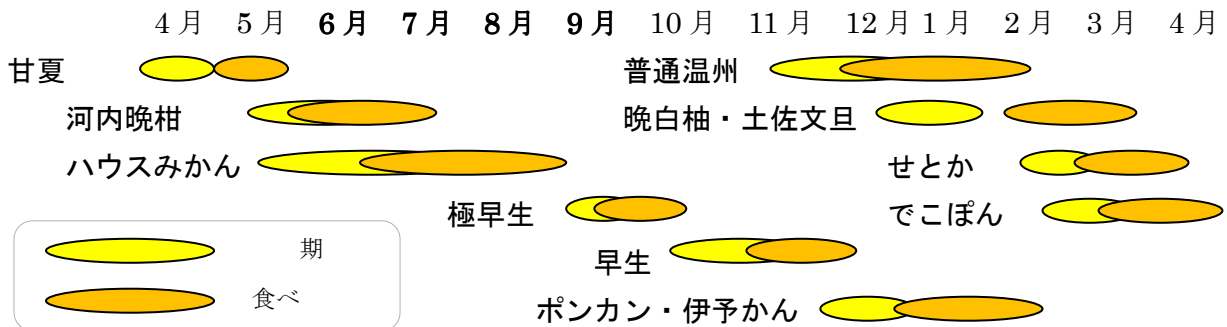
血 予防 メタ 予防 がん予防

先日ある会員の方から「でこ ン」というみかんの1種を頂きました。「でこ ン」は20年ほど前に された名前で、品種名としては「知火」(本の 知火というところから広まったことによる)と言い、特に 度の高いものを 別して ラン しているようです。「でこ ン」の季節は3月から4月ごろまでで、今年はもう終わりですが、「でこ ン」のついでにちょっとかんきつ類について べたところ、今や、何らかのかんきつ類が1年中 に入る時代となっています。多くの種類があります。

話題を えて、 国心 協会の学 が今年の2月に報告したところによると、 国の 性 護 7人の食生の 査で、日 的に レンジや レー フルーツを食べると 卒中のリスクが19% になるとかで、同協会もかんきつ類を食べることを 。 な 果関 は ですが、どうもビタミンCが関 しているようです。ビタミンCと言うと、以前、がんの治療や予防にも注目されていると言う話をしましたが、また、かんきつ類に まれるフラ イ にはメタ リック 症 を予防する 果もあるようでかんきつ類は食べるに したことはない果物でしょう。



さて話はかんきつ類に ついて、いつどんなものがあるか。主なものを下記に例 。 によって時期に多 の いがありますが、だいたいこんなものでしょう。



さて、 ある中でもやはり 型的なのはいわゆる温 みかん。図の 早生とか早生は種類で言えば温 みかんのこと。温 とは上 より南方にある中国の地名で中国では のみかんの 地。温 みかんの名前の 来はそこですが、原 地はどうも 島のようなようです。 の 地 の温 みかんは から され、年 ・年 にかけて最 期を迎えます。この時期よりはるかに早く りを迎えるのがハ スみかん。10月 からハ スを加温、 の間にみかんを成長させる、 と の 物のようです。温 みかんの 地はもちろん、 山、 、 などですが、ハ スみかんについては、 在では がトッ を っているようです。

ビタミンCは にとっても と一 に 出される、言わば 全な栄養 。ジュースとして飲みす ると 分を りす る心配はありますが、年中果 となった今、多いに わいましょう。

「健康日本 21」最終評価

～運動・休養・喫煙～

2000年から国の頭でまった「健康日本 21」の最終評価。前月号では栄養・食生 についての評価の一部を見てみました。今回は、運動・休養・たばこから ックアッ しました。表のは保 動 査などで、2000年当時も 2010年の 果も ずしもその年の 査ではありません。

1) 意識的に運動を心がけている人の 加

	2000年当時	2010年目	2010年 果
性	51.8%	63%以上	58.7%
性	53.0%	63%以上	60.5%

一ム評価 B

とも目 には しなかったものの、7pts 前後の 加があり、運動意識は かに上がってきました。



2) 日 生 での (1日当たり)

	2000年当時	2010年目	2010年 果
性	5,436	6,700 以上	4,707
性	4,604	5,900 以上	3,797

一ム評価 D

一方、日 く がかなり っています。意識と が伴っていないということでしょう。

3) 全 可 (開 で 20 以上 立ち出来る人) な高 者の 加

	2000年当時	2010年目	2010年 果
性 65~74	68.1%	80%以上	82.2%
75 以上	38.9%	60%以上	50.4%
性 65~74	62.4%	75%以上	77.3%
75 以上	21.2%	50%以上	44.4%

一ム評価 B

い 査がありました。ぜひ 様も試してください・・・ で何 立っておられるか。国民全体では 10年間の 上は らかですがこれも目 には せず。

4) 休養 (による休養を 分とれていない人の 合)

	2000年当時	2010年目	2010年 果
	23.1	21%以下	18.4%

一ム評価 A

は取れてきたようです。

5) 喫煙

	2004年当時	2010年 果
性	43.3	38.2%
性	12.0%	10.9%

一ム評価 B

6年間の では、特に 性は喫煙者が っていることは間 いないでしょう。イメージとしてはもっと っている気がしていたのですがやはり 強いというべきでしょうか。

患者・市民も考えよう

医療は公共財かビジネスか

34 2012年度の診療報酬改定より

診療報酬改定は医療の公共性を代表する健康保険制度の中心的存在と言えるでしょう。患者などの負担は相当に与えられるのに対し、保険料という形で医療の価値を測るわけですから、医療関連市場全体の成長を促進してしまうような大きな存在です。診療報酬は2年に1度改定されますが、まず、生計と財源の面で診療報酬全体（には介護報酬と同時改定）の財源がめられ、生計は診療報酬の改定を、保険団体や自治体長などの意見と病院や開業医など医療の代表で成されている中、社会保険医療協議会（中医協）に問います。中医協は、財源の範囲内で診療報酬の配分を協議し、診療報酬改定内容を生計に答申します。

さて、2012年も改定の年に当たり、社会保険と医療の一体改革を目ざし、2025年の医療体系を頭に据え、2012年から年初に出された問題では、診療報酬（本体）は1.38%、介護報酬にすると全体として5500円の増加。内訳は医科1.55%、歯科1.70%、調剤0.46%。それを振り分ける項目として、医師の負担軽減、在宅医療の推進、がんや認知症医療の評価の向上など3項目を上げています。価値は1.38%でほぼ同様のマイナス。診療報酬と価値を合わせた全体では0.00%、介護報酬には0.004%となっています。ここまでは主に主眼点。

それに対して、2月に中医協は詳細な改定案を答申すると同時に意見を付し、多くの問題を上げましたが、その多くが査、検、評価という言葉がんでいます。当然ながら、問題を理しないうで診療報酬を測ることは出来ないと言う中医協の気持ちが表れていると言うことであり、まだ真の価値や、度や報酬を考えた、結果がわかっていないことが多いと言うことでしょう。中医協の意見の目立ったものを上げてみると、

- ・初診や入院基本についてあり方の検査や経路データにより診療報酬の体系的見直し
- ・病院全体の改善の推進、診療報酬を医師に与える度（クターフィー）の検査
- ・在宅医療などチーム医療の評価について査、検
- ・在宅医療と介護の連携の推進の査、検
- ・医療保険のリハビリと介護保険のリハビリの推進、患者別リハビリに対する方針認識
- ・DPC制度（診療報酬を、かかった費用ではなく病気で測る度）は、患者別の体系的見直しや対病院と対病院の評価等
- ・診療報酬体系のさらなる見直し・合理、細心の発達の推進
- ・医薬品については長期製品（すでに後発品がある先発品）の価値のあり方の検査や後発品のさらなる

等々、問題山積ですが、価値、報酬体系の本質的な問題についても示されていることは注目されます。市場の原理に任せられないとなるとすべての利害関係者が考えるためにはそれなりの査、検、評価、検査の推進であることは間違いありません。

定例会参加申込

信日 2012年 月 日

ご 名 :

6月定例会<6月19日(火)TKP赤坂ツインタワーカンファレンスセンター>に

A 参加します

B 参加しません

同伴者、所、先生を囲む会参加希望などご連絡事項がありましたらお知らせください。

がんに関する質問

定例会で松村先生にお聞きしたいがんの予防、検診、治療等に関するご質問があれば出来れば事前に下欄におきください。下記例についてはお答えして頂く予定です。

- 例) ・ペットという検診法をよく聞きますが、信頼性はどの程度でしょうか。
- ・検診センターでがんと言われたらとりあえずどうしたらいいでしょうか。
 - ・今は治っている ですが、 発を防ぐためのサ リメントなどを教えてください。
 - ・ ビースモーカーでもがんにならない人がいますが体質でしょうか。

健康医療市民会議(KISK) 代表 梶原 拓

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-2 東武ハイライン大門203

TEL: 03(5403)7723 FAX: 03(5403)7724 E-Mail: Info@kisk.jp URL: http:// www.kisk.jp